

第2回公開シンポジウム

「バイオマス産業都市構想と 持続可能な開発目標」

主催：広島大学大学院総合科学研究科

共催：広島大学エネルギー超高度利用研究拠点、エコネットひがしひろしま

開催要領：

昨年度東広島市が認定された『バイオマス産業都市』について、昨年度末に第1回のシンポジウムを開催し、「産学官民」による議論を行いました。その際、今後も多くの連携強化に向けた議論を継続することが重要であることを認識いたしました。そこで、今回は第2回として前回同様に大学が主導でシンポジウムを開催し、多様な議論をすることを目的とします。特に、今回は、バイオマス産業都市として先行実績のある「真庭市」からその牽引役でもある市長をお招きし、基調講演をしていただき、さらなる議論を深めたいと考えています。

日時 2018年7月24日(火) 13時半～17時 (12時半開場)

場所 広島大学 学士会館2F レセプションホール (無料)

13時半 開会挨拶 広島大学大学院総合科学研究科 岩永 誠 研究科長

13時35分～13時45分 趣旨説明 広島大学 小野寺真一 教授

【第1部：話題提供】

13時45分～14時25分 真庭市の取り組み 真庭市 太田 昇 市長

14時25分～14時45分 東広島市の取り組み 東広島市 産業部 吉田倫幸 係長

14時45分～15時05分 バイオマスエネルギー研究 広島大学 松村幸彦 教授

15時05分～15時25分 森林生態とその衰退研究 広島大学 中坪孝之 教授

15時25分～15時45分 里山活動の取り組み 広島大学 中越信和 特任教授

【第2部：総合討論】16時～16時50分

上記5人のパネラーとの議論

コメンテータ：市川貴之 教授、薦田直紀さん(サステナブル地域づくりセンター)ら

16時50分 閉会挨拶 広島大学 小野寺真一 教授 17時終了

問い合わせ：広島大学大学院総合科学研究科
小野寺真一 / 082-424-6496
sonodera@hiroshima-u.ac.jp

